

# 『食べる』にこだわる高齢者への義歯治療 ～咬合採得編～



講師 鈴木宏樹先生 (篠栗病院歯科 歯科医長)

日時 6月24日(土) 18時～20時

会場 電気ビル共創館3階「カンファレンスA」  
(福岡市中央区渡辺通2-1-82)

定員 120名 ※定員になり次第、受付を締め切ります。

参加費 無料 ※会員限定 この機会にぜひご入会ください。

## 【学歴】

2001年 福岡歯科大学歯学部 卒業  
2017年 九州大学大学院歯学府歯学専攻 入学  
2021年 九州大学大学院歯学府歯学専攻 修了  
博士(歯学)学位授与

## 【職歴】

2003年 医)芳香会 博多歯科クリニック  
2009年 同退職  
2010年 医)井上会 篠栗病院 歯科医長  
2021年 九州大学大学院歯学研究院口腔  
機能修復学講座 共同研究員

## 【所属学会・資格等】

- ・日本有床義歯学会 認定医
- ・日本顎咬合学会 認定医
- ・日本老年歯科医学会 認定医
- ・日本摂食嚥下リハビリテーション学会 認定士
- ・日本口腔ケア学会 評議員

## 【鈴木先生から】

食べるためには様々な口腔機能が必要になります。

口腔機能を低下させないためには、やはり歯を失わないのが1番ですが、高齢期においては、様々な理由で歯を失うことが多いのが現実です。その欠損を我々は義歯等で補綴することで口腔機能の回復としてきました。しかしながら、実際に義歯が口腔内で機能しているかどうかを確認することは少なく、あまり機能しているとは言い難い義歯も多く見受けられます。

義歯が機能するということは「食べられる」、つまり「栄養がとれる」ということであり、それは患者の口腔機能だけでなく、QOLやADLの回復にも大きな役割を果たすため、超高齢社会の現在において意義があり、非常に重要です。

義歯を機能させるために最も重要となることの1つは、いかに適正な顎位で咬合を付与させるかであると考えています。そのためには咬合採得時の考え方や手法が大切です。

今回は高齢者義歯治療における咬合採得のポイントやコツを症例の供覧と共にお話したいと思います。

👉 返信先 FAX : 092-473-7182

会員氏名 : \_\_\_\_\_ ※未入会の先生はご入会ください。

医療機関名 : \_\_\_\_\_ TEL : \_\_\_\_\_